

支えあう 住みよい社会 地域から

民児協 いばらき



ふれあい訪問（笠間市）

95

2025(R7).6.15

contents

■ 民生委員 OB 訪問 一水戸市 大内元一様	2
■ 民生委員 OB 訪問 一阿見町 伊藤清悦様	3
■ 令和6年度 事業報告書・収支決算書	4
■ 令和7年度 事業計画書・収支予算書	5
■ 訪問民児協（那珂第二地区）	6
■ 主任児童委員活動報告（県南・北地区）	7
■ 事務局だより	8
■ 編集後記	8

【一茨城県民生委員制度100周年記念事業ー 民生委員OB訪問】

前号（94号）に引き続き、茨城県民生委員制度が令和8年4月に100周年を迎えるあたり、長く民生委員活動をなされてきた二人のOB（水戸市の大内元一様、阿見町の伊藤清悦様）に、県民児協役員がお話をお聞きしました。



大内 元一様

水戸市在住
委員歴 42 年
昭和 55 年～令和 4 年
現役時の役職：
水戸市緑岡地区民児協
会長 5 期 15 年
茨城県民児協 評議員、理事、
副会長 計 4 期 12 年

■ OB からのお話

私が民生委員になったのは33歳の時でした。当時子育ての真っ最中、自営業も始めたばかりでした。民生委員をしていた父が他界し、地域の世話役の方が「祖父・父・私で3代になるので後任に是非」と懇願され、渋々引き受けたのでした。先輩方に交じり活動する中で、地域の実情も掴むことができ、

特に全国民生委員大学研修会に参加し、職務を行う上での知識や見識を高めることができました。

一番印象に残っていることは、「東日本大震災」発災後の活動です。前年調査した一人暮らし高齢者の資料を手に、道路の寸断など災害の爪痕が残る中、安否確認に奔走しました。

民児協の会長として心がけたことは、何もかも



自分で解決するのではなく、委員の皆さんがうまく動けるようコーディネートすること、人材を育てること、常に支えてくれる人に感謝することです。

現役の委員の皆さん、常にアンテナを高くして、地域の状況を把握するとともに、困り事を抱える方に寄り添い、行政や関係機関に「受け止めて・つなぐ」ことを職務として、「誰もがその人らしく、安全で安心して暮らせること」を具現化してください。よろしくお願いします。



全国民生委員大学に参加

■ OB 訪問を終えて

とてもお元気で活力に溢れた話しぶりでした。ご自宅の壁一面に超VIPの方とのツーショット写真・表彰状が並んでいました。現在でも多くの要職を引き受けられ、ボランティアで、高齢者施設等で寸劇を披露したり、水戸の梅祭りで「黄門様」に扮したりしてエネルギッシュに活動しているそうです。どうぞいつまでもお元気で私たちの活動を見守ってください。民児協の歴史を遡って、よいお話を聴くことができました。

インタビューー

茨城県民生委員制度100周年記念事業
実行委員会委員 秋葉 泉



伊藤 清悦様

稲敷郡阿見町在住

委員歴 42年

昭和 55 年～令和 4 年

現役時の役職：

阿見町民児協 会長 7 期 21 年

茨城県民児協 評議員、理事

計 3 期 9 年

■ OB からのお話

○ 民生委員・児童委員になったきっかけ

秋田県生まれで、実家がお寺でしたので、中学までは秋田で生活をしていました。その後東京での生活になり、高校・大学とお寺の学校でした。曹洞宗【800年前、道元が開祖】の本山永平寺と総持寺で修業をしました。

神奈川県で修行中に、本山から茨城県阿見町に、住職が亡くなって後継ぎがない長泰寺という寺があるので継いでほしいと言われ、50年近く前に長泰寺に来ました。

全くと言っていいほど、茨城県、しかも阿見町という地域は初めてでした。とにかく地域を知ること、誰かの為、人の為に貢献をしたいという思いを常日頃から思っていました。ちょうどその頃、地域で長年民生委員を務められている方のすすめにより、保護司を受け、翌年には民生委員を受けることになりました。委員の皆さんと地域の人に支えていただきながら、40年以上にわたり民生委員の任期を全うすることが出来ました。貴重な経験をさせていただき感謝の一言です。



中学生との懇談会

○ 民生委員・児童委員で一番印象があったこと

先輩民生委員の指導と同僚民生委員とのコミュニケーションが非常に良かったことでした。（委員同志の和に大いに貢献）

- ①一人暮らしの家庭への紅白の餅つきをして、各家庭へ見守りを兼ねて届けたこと。（もち米は社協から提供）
- ②善意銀行からの費用で煙感知器を民生委員が各家庭に設置したこと。（家庭の事情が分かる）
- ③児童生徒対策委員会（小中）を設置したことにより、学校との意思疎通が図られたこと。

○ 民児協会長として心がけたこと

福祉は止まってはいけない。前進あるのみ。

○ 現役の民生委員・児童委員に一言

こまめに歩くこと。



福祉バザー

■ OB 訪問を終えて

今年は昭和 100 年、戦後 80 年、伊藤様は昭和 22 年生まれの団塊の世代、私も同世代でありますので、スムーズに意見交換が出来ました。「こまめに歩くこと」と言われたことが印象に残りました。

インタビューー

茨城県民生委員制度 100 周年記念事業

実行委員会委員 猪瀬 晴男

令和6年度 事業報告書・収支決算書(計算書類等)

事業報告 令和6年度事業計画において、運営方針に基づき、重点目標3点などを掲げて、事業を行ってまいりました。主な成果と事業の実施状況は以下のとおりです。

◆主な事業成果

1 重点目標への対応状況

(1) 民生委員・児童委員活動の推進支援とより良い環境づくり

○各種研修の充実を図った結果「会長・副会長研修」、「児童委員・主任児童委員研修」において、初めて他県の特徴ある活動をしている民児協からの発表の機会を設け、研修参加者から高い評価を受けた 等

(2) 持続可能な民生委員・児童委員活動を支える単位民児協の強化

○単位民児協版活動強化方策作成マニュアルなどを活用し、新たに活動強化方策としてまとめた複数の民児協がみられた

・県内の活動強化方策作成済み 4民児協 等

(3) 民生委員・児童委員への理解となり手のすそ野を広げる

○「民生委員制度100周年記念事業実行委員会」を設置し、プレ事業に取り組むことにより、制度の理解促進と普及啓発に努めた

・キャラクター「いばらきミンジー」の100周年バージョンの作成及びそのキャラクターを用いたピンバッジの作成 等

- ・主任児童委員連絡会委員長会議(3回)
- ・互助事業運営委員会(4回)
- ・茨城県民生委員制度100周年記念事業実行委員会(4回)

(2) 研修会の開催

○単位民生委員児童委員協議会会長・副会長研修会(2会場)

○市町村民生委員児童委員教室(2会場)

○児童委員・主任児童委員研修会(1会場)

○民生委員児童委員全体研修会(1会場)

(3) 全国会議・全民児連主催研修等への参加

○民生委員・児童委員リーダー研修会

○児童委員・主任児童委員活動研修会

○全国民生委員指導者研修会

○第84回関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会

○第93回全国民生委員児童委員大会

(4) 市町村民生委員活動の推進

○指定民児協

・結城市民生委員児童委員協議会

・龍ヶ崎市中心地区民生委員児童委員協議会

(5) 茨城県民生委員児童委員大会

○第43回茨城県民生委員児童委員大会(1会場)

(6) その他の主な事業

○「民生委員児童委員の日活動強化週間」の取り組み強化(5月12日～18日)

○情報の提供

・民児協いばらきの発行(2回)

○互助事業の実施

・全国民生委員児童委員互助事業及び県互助事業の実施

2 各種事業の実施状況

(1) 会議、専門委員会の開催

○理事会(4回)

○監事会(1回)

○評議員会(2回)

○正副会長会議(18回)

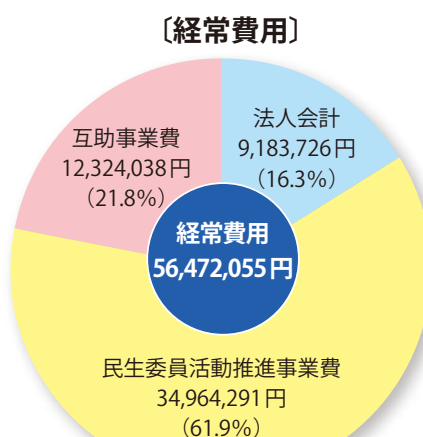
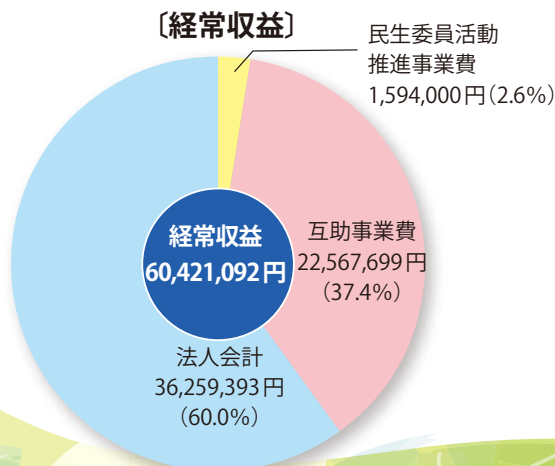
○部会、専門委員会

・総務委員会(4回)

・編集委員会(8回)

・児童福祉部会(2回)

令和6年度 正味財産増減計算書



令和7年度第1回理事会(5月13日)及び第1回評議員会(5月28日)において、令和6年度の事業報告書及び収支決算書(計算書類等)が承認されました。

令和7年度 事業計画書・収支予算書

1 運営方針

○社会情勢

現在、少子高齢化や一人暮らし世帯の増加、家族意識の変容などが進み、地域において人と人とのつながりが希薄化するなか、孤独・孤立、ひきこもり、貧困、ヤングケアラー、介護や子育てなど、住民の抱える課題は複雑・多様化しています。

○民生委員・児童委員活動と求められる期待

本県における民生委員・児童委員は、1926年の制度設立以来、100年近くの長きにわたり、住民の最も身近な相談相手としての役割を担い、地域のよき隣人として活動を重ねております。

また、コロナ禍や全国的に多発する地震や大雨などによる自然災害のなかで、住民同士の支え合いの仕組みづくりが重要性を増しています。一方、自治会など地域コミュニティ機能が低下している中において、地域住民の立場に立ち、相談・支援活動をしている民生委員・児童委員への期待は一層大きなものとなっています。

さらに、こうした日頃の民生委員・児童委員活動で得た情報などを自治体や関係機関に提供し共有することや改善策を提言することで、地域全体で包括的な支援体制を構築することが期待されています。

○県民児協の取り組み

県民児協においては、新たな国・県の支援制度などの的確な情報収集・提供を行うほか、個々の民生委員・児童委員活動を支えるために、必要な知識や課題解決事例などの習得を支援するとともに、単位民児協間の交流などを促進させ、組織的な活動を強化し、期待される役割に応えられるように支援していきます。

また、本県の制度設立100周年（令和8年；2026年）を契機とする記念事業を引き続き、検討・実施することなどを通し、個々の委員の活動意欲の向上を図るとともに、

に、制度や活動を地域・社会に広めていきます。

特に、今年度は一斉改選の年となります。全国的に「なり手確保」が課題となるなか、広く民生委員・児童委員制度や活動を知ってもらうことが重要です。そのために、県民児協では全民児連や県・市町村との連携・協働を通じた活動を一層強化していくとともに、民生委員・児童委員が安心して活動できる環境整備に向けた取り組みを行い、市町村民児協や単位民児協を支え、地域福祉の向上に貢献していきます。

2 重点目標

（1）民生委員・児童委員活動の支援とより良い環境づくり

- ・充実した各種研修の開催を通じた民生委員・児童委員の円滑な活動支援

（⑨主催研修のねらい等を実施方針として事前に明確化することにより、市町村民児協の研修との相乗効果を上げるとともに、研修効果の民児協内への波及を要請）

（⑩会長・副会長研修などで他県の先進民児協の活動紹介及び、県内民児協の参考となる取り組みを紹介）

（2）持続可能な民生委員・児童委員活動を支える単位民児協の強化

- ・単位民児協版活動強化方策作成マニュアルの活用などを通じた組織強化の支援

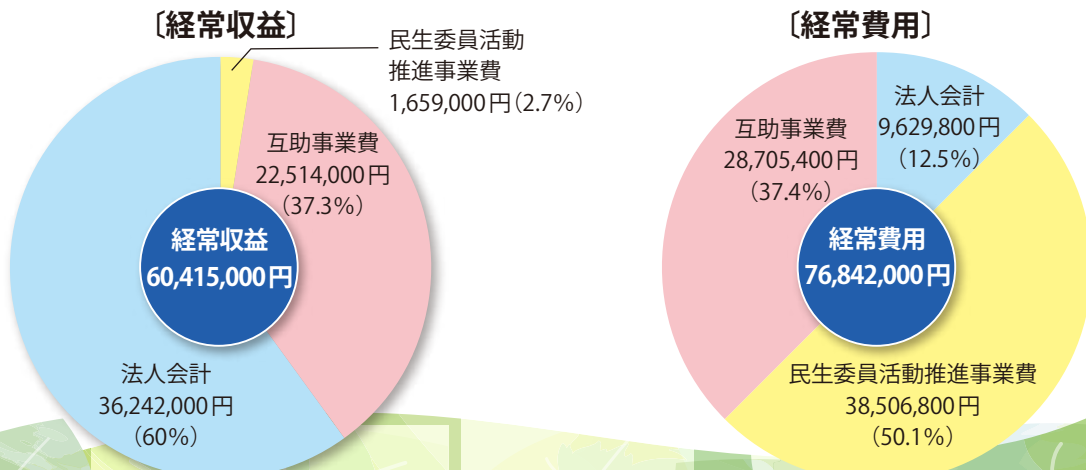
（⑪各市町村民児協の取り組みの把握・紹介及び、単位民児協への個別支援）

（3）民生委員・児童委員活動の理解促進となり手のすそ野拡大

- ・民生委員・児童委員活動の理解促進と地域への普及

（⑫制度100周年記念事業実行委員会における事業の検討・実施）

令和7年度 正味財産増減計算書



令和6年度第4回理事会(3月6日)及び第2回評議会(3月26日)において、令和7年度事業計画及び収支予算書が承認されました。

訪 問 民 児 協

那珂第二地区民児協 会長 秋葉 泉

○委 員 数 35名（うち主任児童委員2名）

○担当エリア：那珂市は3つの民児協があり、第二地区は神崎、額田、戸多、芳野、木崎の5地区のエリアを担当している。

今回は本紙の高畠編集委員（日立市多賀北地区民児協会長）が、那珂第二地区民児協の活動と特色ある取組を取材するため訪問しました。

1 訪問のねらい

最近の民生委員・児童委員は、会社員や自営業など仕事をもちながら活動している方が多くなっており、今後、より柔軟に、民児協運営を行っていくことが必要になってくると思われます。那珂第二地区では、令和3年から定例会を年1回休日（土曜日）に開催しているそうです。仕事を持つ委員の意見を取り入れて、その年の5月の定例会で試行してみたところ、委員の出席率は100%で、話し合いも活発になされ、一定の成果が見られたとのことであり、それ以降、コロナ禍のあった令和5年を除き、毎年開催しているということです。このため、今回は先進的に休日開催に取り組んでいる第二地区の状況を取材させていただくことにしました。

2 訪問日の定例会の様子

今年は5月10日の土曜日に定例会が開催され、取材をさせていただきました。当日のメインの協議として、活動地域毎に5グループに分かれ、日頃の活動で判断や処理に困った事例について、どのように対応したらよいか話し合いがありました。ここでは各委員が自身の体験や意見を熱心に出し合っており、最後に各グループからの結果発表の時間もあり、ある意味「委員どうしの研修」のような機会にもなっていると感じました。

この日検討した事例は、那珂市の3つの民児協の各委員から出されたものであり、「見守り」「災害」「生活相談」など項目ごとにまとめ、現在117のケースについて、市内の3つの民児協毎に対応の検討を進めているそうです。

今後、那珂市の連合民児協の協議の場に持ち寄り、市としての統一した対応方針を出し、「事例集（こんなときどうする？那珂市版）」としてまとめて



いきたいということでした。

3 取材しての感想

当日検討されていた事例は、「見守り訪問したところ来てほしくないと言われた」、「食事やゴミ出しなど家事に困っていると相談された」、「日常生活品の買い物依頼があった」などの際にどのように対応するかという実際に直面したものであり、事例集としてまとめられれば、現役の人のためだけでなく、新人やこれから民生委員になる人の大きな助けになり、県内の多くの民児協でも活動の参考になるものだと思います。

定例会終了後に役員の皆様方と意見交換をしましたが、「定例会では全員に意見を出してもらう」、「委員の意見を活動に反映させる」、「委員が孤立しないよう配慮している」、「特定の委員だけに発言が偏らないよう、他のメンバーの発言を引き出す」といった話をお聞きし、全員参加型の民児協運営を感じることができました。今回の「事例集」の作成も、その一環で、新任委員の活動への不安を軽減する環境づくりに努めていることを感じることができました。

また、秋葉会長のお話から

は、休日開催することで定例会に参加しづらくなったという意見もあり、デメリットもあるとのことでしたが、委員の有職率も高くなることが見込まれる中、今後は、休日開催ばかりでなく、夜間開催、ICTを活用したりリモート会議等も検討し、委員活動が持続可能なものとなるよう考えておられることがわかりました。

近年、委員の高齢化が進み平均年齢は少しずつ増える傾向にあります。定年の延長や働き方の多様化が進むなか、仕事をしながら活動する委員も増えており、委員のサポート体制を確立し、若い世代のなり手を確保していくことが課題となっています。県内の民児協においても、那珂第二地区民児協のような取り組みを参考に、若い世代が委員となり、次世代の中心的役割を担ってもらえるよう、委員の活動支援を考え、それぞれが活動しやすい環境整備を考えていくことが求められていると思います。



主任児童委員活動報告（県南・北地区）

県南・北地区常任委員長（美浦村主任児童委員） 中島 宏
県南・北地区常任委員（つくば市主任児童委員） 酒井 政彦

今回は、県南・北地区の常任委員会活動と、つくば市の主任児童委員活動を報告いたします。

1 県南・北地区の常任委員会活動

県南・北地区は、土浦市、石岡市、つくば市、かすみがうら市、阿見町、美浦村の6市町村で、55名の主任児童委員がおります。6市町村の代表者6名で常任委員会を設け、年間8回程度、土浦市内の公民館で会議をしています。例年9月下旬に実施をしている県南・北地区連絡会研修会に向けての話し合いが中心ですが、会議では、毎回、各市町村における主任児童委員の活動や、学校関係・関係機関との連携に関する話題などの様々な情報交換を行っております。会議で話し合われたコロナ禍後の子ども達の様子や学校の情報を得るための学校訪問といった貴重な情報は、6市町村の代表者が持ち帰り、各市町村における活動へ広げていただきたいと思います。

2 県南・北地区連絡会研修会の紹介

常任委員会では、日ごろの活動に役立つよう、研修会を企画し、毎年、内容を工夫しています。研修会の会場は輪番制で、各市町村の公共施設を利用して開催し、開催地区の市町村事務局の協力を得て、研修会の運営を行っております。

令和6年度の研修会の内容を一部紹介致します。

会場は、つくば市役所、茨城県福祉部福祉政策課の職員から「茨城県におけるヤングケアラー支援について」の講話をいただきました。また、研修会では元県民児協理事の大森猛先生から「聴く耳と待つ心でつなぐ心の架け橋」と題して、先生の長年の経験を基に、主任児童委員としての心構えや在り方を、ユーモアを交えた巧みな話し方で、分かり易くお話をいただき、多くの参加者が満足して研修会を終えることができました。

また、令和5年度の研修会からは、各市町村民児協の児童委員の参加が定着してきました。民生委員は児童委



員を兼ねており、主任児童員の活動を理解してもらう、一端になってきていると感じております。

3 つくば市の主任児童員の活動

つくば市内には、7地区の民児協があり、18人の主任児童委員がいます。つくばエクスプレスの沿線開発が進み、一昨年人口増加率が全国一位となりましたが、児童生徒数が増えているのは谷田部地区・桜地区に集中しているなど、市内でも地区により、状況も特色も違います。

特色ある活動としては、筑波地区では、主任児童委員がスクールバス運行の停留所数十カ所を2ヶ月かけて回り児童の登校の見守りを行っており、保護者とも顔見知りになるなど主任児童委員活動の理解の推進に効果を上げています。

一方、主任児童委員の活動で各地区で共通しているのは、夏休み前に学校訪問（地区によっては民児委員も一緒に）し、年に1回の研修視察と市内連絡会議4回行い、講師を招いての学習会や活動報告会をし、情報の共有や資質の向上に努めています。

また、毎月地区ごとに開かれる民児協の定例会に、常に主任児童委員が参加していることにより、児童・生徒の支援に対する意識も高まっています。民生委員・児童委員（市内252人）の方々も、支援が必要な家庭の相談や見守り支援、関係機関につなぐための活動をしているところであり、地域の民児委員と良好な関係を築き、関係機関との情報共有を図りながら子どもたちの安全や生命を守る手助けが少しでも出来ればと思います。

地 区	数	担当地区小・中学校	その他関わっている活動
大 穂	2	中学校1、小学校4	登下校の見守り・声かけ・付き添い、スクールバス停の巡回、学校評議員、
豊 里	2	中学校1、小学校3	コミュニティ・スクール協議会委員、理科支援委員、
谷田部東	3	中学校3、小学校7 義務教育学校2	保育コーディネーター、無料学習塾ボランティア、読み聞かせ、日本語指導ボラン
谷田部西	3	中学校3、小学校7 義務教育学校1	ティア、放課後子ども教室
桜	3	中学校4、小学校8	コーディネーター、つくば未
筑 波	3	義務教育学校1	来塾チューター、特別支
荃 崎	2	中学校2、小学校3	援教育支援委員、薬物
計7地区 主任 児童委員 18名		小学校 32校、 中学校 14校、 義務教育学校 4校	乱用防止指導委員、保育 ボランティア、地域サロンの実施、地域見守りネット会議参加、その他

この度、次の方が栄えある叙勲・褒章を受けられました。心からお祝い申し上げます。

(敬省略)

○叙 勲 瑞宝双光章

大内 元一（水戸市・元）

○褒 章 藍綬褒章

飯泉 孝司（つくば市・現）

茨城県民生委員児童委員互助事業の給付状況について

◇令和6年度の互助事業の給付状況がまとまりましたのでお知らせいたします。◇全体の給付件数は255件3,363,000円となりました。◇前年度と比較して、傷病見舞給付金の件数が45件（約4割）と大幅に増加しております。

◇病気が再発している場合など、給付判断を迷うケースも発生しており、互助事業運営委員会（委員長 羽生 成一郎）において、判断基準を示しております。◇県民児協では、6月下旬に各市町村民児協に対し、給付状況と申請するにあたっての留意事項を改めて通知する予定です。◇市町村民児協においては、定例会の場などで、各委員の日常の健康、ケガ等の注意を改めて喚起いただくようお願いいたします。

給付金種類		令和6年度 A		令和5年度 B		比較 A-B	
		件数	金額（円）	件数	金額（円）	件数	金額（円）
死亡	本 人	14	740,000	18	900,000	△4	△160,000
	配 偶 者	43	860,000	30	600,000	13	260,000
退 職		67	283,000	59	293,000	8	△10,000
傷病見舞		122	1,220,000	77	770,000	45	450,000
公務傷害・疾病		6	200,000	4	140,000	2	60,000
災害見舞		3	60,000	0	0	3	60,000
計		255	3,363,000	188	2,703,000	67	660,000

県民児協のDVD貸出サービスについて

◇県民児協では、各市町村民児協の研修などで使っていただくよう、DVDの貸し出しを行っています。◇貸し出し方法は、県民児協ホームページ（www.ibaraki-minjikyo.or.jp/index.html）の「民生委員・児童委員・事務局専用ページ」に掲載してあります。◇表の9番～12番は今年4月から追加したDVDですが、10番～12番はVHS版をDVDに変換したものです。◇少し古いものがありますので、利用するにあたってはご注意ください。

	DVD名	時間	制作年
1	第91回（令和4年度）全国民生委員児童委員大会（愛知大会）	60分	R4年
2	民生委員制度創設100周年済世制度、方面委員から民生委員・児童委員へ	20分	H29年
3	訪問活動・相談活動の基本～民生委員・児童委員のための相談技法研修用ビデオ～	32分	H31年
4	あなたのまちの民生委員・児童委員～地域の身近な相談相手～	5分	H30年
5	民生委員の思いよ、届け！民Say！Rap！	5分	H31年
6	地域で減災！	24分	H20年
7	もし今、地震が起きたら～命を守る備えと避難行動～	19分	H23年
8	悪質業者の視点～次の狙いはあなたかも～	23分	H21年
9	道民児連研修ビデオシリーズ「コロナ禍を経て改めて人権を尊重する民生委員児童委員活動を考える」	117分	R6年
10	民生委員・児童委員のための研修ビデオ1 相談・支援活動のポイント＜基本編＞	36分	H19年
11	民生委員・児童委員のための研修ビデオ2 相談・支援活動のポイント＜応用編＞	34分	H19年
12	民生委員・児童委員のための研修ビデオ3 民児協活動展開のポイント＜組織活動編＞	32分	H19年

編集後記

今年は梅の実もたわわに実り、十分に「梅しごと」ができることを幸せに感じています。四季の移り変わりに目をやりながら、見守りを必要とされる方とのたわいない話に花を咲かせるのも民児委員の楽しみの一つと思います。

これまでの思いもよらない大災害を顧みると、普通に生活することの大切さはこの上ない宝と言えます。「災害は忘れたころにやってくる」といわれます。「災害に備える民生委員・児童委員活動10か条」は、日頃の私達の活動の基本となっています。

民児委員手帳には、「…10か条」の他にも関係資料が掲載されていますので一読されてはいかがでしょうか。この手帳は、私にとって活動の足跡であり支えとなっておりお守りのような存在です。そのようなこともあり、今年は一斉改選の年を迎えますがもう少し活動を継続しようと決心したこの頃です。

編集委員 稲野邊 直子

発行人

一般財団法人 茨城県民生委員児童委員協議会
会長 倉持 嘉男

〒310-0851 水戸市千波町1918

セキショウ・ウェルビーイング福祉会館内（茨城県総合福祉会館）

TEL 029-243-0887 FAX 029-243-5902

URL : <https://www.ibaraki-minjikyo.or.jp>

E-mail : iba-minjikyo@bz01.plala.or.jp